

## 第7回宇宙安全保障部会 議事要旨

### 1. 日時

平成27年10月7日(水) 16:00~18:00

### 2. 場所

内閣府宇宙戦略室大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

中須賀部会長、片岡部会長代理、青木委員、折木委員、久保委員、白坂委員、鈴木委員、仁藤委員、山川委員

#### (2) 事務局

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、高見宇宙戦略室参事官、内丸宇宙戦略室参事官、松井宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官

### 4. 議事要旨

#### (1) 宇宙安全保障に関する工程表改訂について

9月25日の宇宙政策委員会では承された「宇宙基本計画工程表改訂に向けた進め方」(資料1)について、事務局より説明を行った。その後、同委員会では承された「宇宙基本計画工程表改訂における方向性」(資料2)の「宇宙安全保障部会における工程表改定作業で検討すべき論点」等について、中須賀部会長より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。(以下、質問、事務局の回答)

○年末の工程表の改訂のイメージはどのようなものになるのか。

●現在の工程表に対して所要の見直しを行った「工程表(平成27年度改訂)」及び、主な改訂内容や達成事項・進捗状況等を取りまとめた付属文書を作成する予定である。

#### (2) 日米包括対話について

「宇宙に関する包括的日米対話第3回会合の結果概要」(資料3)について、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員等から以下の質問・意見等があった。(以下、○質問・意見等、●事務局等の回答等)

●米国は、宇宙の民生面、安全保障面の幅広い議題を扱う「包括対話」の場を、日本とのみ有している。また、今回の包括対話には、キャロライン・ケネディ駐日米国大使が出席されており、米国の日米宇宙協力への強い期待が示されている。

○海洋状況把握(MDA)に関して、米国は日本に対してどのような要望を持っているのか。

●米国からは、MDAにおいて日本が何をしたいのかについて問われているところであり、現状、米国から日本に対して具体的な要望がなされている訳ではない。

○宇宙システムの抗たん性については、米国から日米協力に対する強い期待が示されている。一方で、宇宙アセットを多く運用している米国と日本とは考えるべき抗たん性の概念が

異なる筈であり、「宇宙システム全体の抗たん性強化」を検討する際には、日本としての考え方をしっかり整理すべきである。

(3) その他

その他の議題として、「平成 28 年度概算要求における宇宙関係予算」について、事務局より説明を行った。

以 上